



1 学年 学年だよ



令和3年 7月 2日
大和市立つきみ野中学校
第7号

楽しかった遠足

遠足当日、梅雨の時期での遠足ということで、天候の心配をしていましたが、朝は曇り。無事、海の公園へ潮干狩りに出発することができました。ところが、潮干狩りを始めて30分が経過した頃、急に雨が降ってきました。そのため、残念ながら、予定より短い時間で潮干狩りを終えることになってしまいました。それでも、たくさんアサリをとることができた人、海の生き物をじっくりと観察していた人、友だちとワイワイ楽しく過ごしていた人など、日常では味わうことのできない体験に、キラキラと目を輝かせていた生徒を見ることができました。昼食を食べる頃には雨が止み、美味しいお弁当タイム。その後は砂浜に移動し、4種類のレクリエーションを楽しみました。まずは『猛獣狩り』。4月の学年レクは先生主導でしたが、今回はレク係が大きな声で歌って踊って、学年をリードしてくれました。次に『クラス対抗ドッジボール大会』、『伝言ゲーム』、それから『クラス全員リレー』を行いました。砂浜で走るリレーは、どこのクラスが勝つか分からない大接戦となり、生徒も、とても楽しそうにしていました。最後に、学年全員で記念写真を撮りました。行き帰りのバスの中ではコロナ感染対策としてレクはせず、静かにDVDを見て過ごしました。昨年度は修学旅行に行けなかった現中学1年生ですが、今回、コロナ禍でも遠足に行けたことを、嬉しく思ってくれた生徒も多くいたようです。この遠足で学んだことを、学年職員一同、今後に生かしていきたいと存じます。保護者の皆様、遠足にご協力頂きありがとうございました。



作文紹介

今回は1・4・5・8組です。



『いよいよ遠足だ!!と、その過程』

1組 生徒1さん

遠足の日、私は少し寝不足気味の頭で「楽しみだな」と考えていました。何ととっても、中学校に入って初めての遠足。入学して、もう2か月くらいが過ぎたけれど、みんな、自分の本音、本性を隠しているように見えました。だから、私は「思いっきりはじけよう」と思いました。

朝、学校につくと、どうやら、ザワザワしているようでした。みんな、中学校での初めての遠足が、楽しみな反面、緊張も感じていたのではないかと思います。いつも通りの検温票を書く班員の姿も、どこかふわふわしているように感じられました。バスに乗った時も、みんな、妙にハイテンションでした。みんなのことばかり気にしている私も、ハイテンションだったと思います。

海の公園に到着した時には、私もみんなも、テンションが天井を突き破りそうでした。みんなで海にかけだしていったとき、意識的にははじけようとしなくても、自分が勝手にはじけていることに気が付きました。

途中、雨が降って来たこともあり、アサリは一つもとれませんでした。ですが、班員の人も、思いっきりはしゃいで、はじけていました。レクも楽しく、私はみんなとの距離が、近づいたような気がしました。

遠足前に決めていた、私だけの目標、「思いっきりはじける」は、無自覚に達成されました。そこで、「誰もが、今の私みたいに、無自覚にはじけられるような空気を、これから作っていきたい」と、私にはあらたな目標が生まれました。



『カガミガイの思い出を残して』

4組 生徒2さん

今回の遠足は潮干狩り。潮干狩りは初めてだし、しかも中学校初めての遠足だし、と、私にとっては、初めてづくしの遠足でした。けれど、私の中にあった少しの不安は、周りのクラスメイト達の和やかな雰囲気、気づかぬうちに消えていきました。いつもの学校生活を送りながら、いつものメンバーと一緒にいく遠足のことを考えると、ワクワク、ドキドキして、そのことしか考えられなくなる感じがしました。

遠足当日、潮干狩りが始まりました。でも、出てくるのは食べられるかどうかもわからない貝ばかり。このままでは何も持ち帰ることができなくなる・・・そんなふうに思ったとき、真っ白な円形で、まさにしおりに書いてあった通りの姿で出てきてくれたのが“カガミガイ”でした。やっと見つけた貝があったということで、何とも言えない安心感が頭をめぐり、カガミガイを捕まえました。けれど、潮干狩りが終わった後、ふと、ある考えが頭をよぎりました。「自分はこの貝をどうしたいのか」と。カガミガイは、動きません。迷った挙句、私は海に貝を戻しました。結局、貝は一匹も手に入れることはできなかったけれど、貝を海に戻したことで自分はどう変わったのだろう・・・。その答えをこれから見つけていきたいと思えます。



『6月24日』

8組 生徒3さん

「楽しかったなあ」という表情を、遠足が終わった後に多くの人が浮かべていた。もちろん私もその一人で、この遠足に行けて良かったと思った。しかし、この遠足は自分達の改善点を自覚させるものでもあったと思う。

遠足で特に楽しかったのはレクリエーションだ。レク係が考えてくれた遊び自体が楽しかったのも理由の一つだが、普段あまり関わっていなかった人と関わられたのが良いと思ったからだ。このレクによって、色々な人と仲を深められた気がする。

今回気づかされた改善点は、二つ。遠足中、行動が遅い人が多いように見受けられたことだ。また、話を聞いていない人がいた気もした。だから、これから、意識して行動を速くしたり、話を聞いたりすれば、私たちは「輝石」へ近づけるのではないか、と思った。遠足で学んだことを、今後の生活に取り入れ、「原石」に磨きをかけられたら良いと思う。この遠足に行けて良かった。



『アサリが取れなかった潮干狩り』

5組 生徒4さん

私は2年ぶりの潮干狩りをとても楽しみにしていました。なので潮干狩り前日には、てるてる坊主を作っていました。

潮干狩り当日まで、私たちは自分の係を頑張ってきました。私は、美化係でポスターの色塗りと掲示などを担当しました。色塗りでは、クラス、学年全体を盛り上げられるようなポスターを作りました。私だけでなく他の係の人も、潮干狩りに向けて1人1人が力を合わせていました。

潮干狩り当日、私は、自分の班以外の人や、これまであまり話していなかった人達と話せました。私自身、話すことは嫌いではないので、とても楽しく、クラスのみならずともっと仲良くなれた気がしました。

バスから降りて、少し歩くと海が見えました。以前に行った所よりも広くてきれいだったので、ワクワクしました。6年生の時の修学旅行は、コロナで行けなくなってしまったので、大勢でどこかに行くことができ、とてもうれしく思いました。

みんなで、バケツやスコップなどを持って、貝を探しに向かいました。でも、すぐに、たくさん取れるだろうと思っていたことを後悔しました。探しても探しても、ヤドカリや身のない貝ばかりで、あっという間に30分が経ってしまいました。他のクラスの友達にも協力してもらい、やっと見つかったのが、子ガニ一匹だけでした。それでも、頑張って探してみると、大きく渦を巻いた貝を見つけました。食べられるかどうか分かりませんでしたが、貝を見つけたことについての喜びが大きく、アサリのことなど忘れてしまいました。

帰りのバス、中学校に近づいたあたりで、塾がある事をすっかり忘れていたことに気づき、とてもあせりました。あわただしい1日でしたが、友達との仲も深まり、そして何より5組ではじめての思い出作りができました。次は、これを超えられるような楽しい行事を、みんなで作っていきたいと思っています。





1・4・5・8組クラス写真



～潮干狩りスナッフ～
楽しかったね☆



《クロームブック持ち帰りについて》
先日、「クロームブックの持ち帰りについて」というお便りをお配りしました。持ち帰る場合は「クロームブック持ち帰り確認票」に保護者のサインを頂くことになっております。また、学校より課題が出て、持ち帰る必要がある場合は、保護者のサインなしに持ち帰ることもあります。お子様がルールを守って使用できるようご協力お願いいたします。